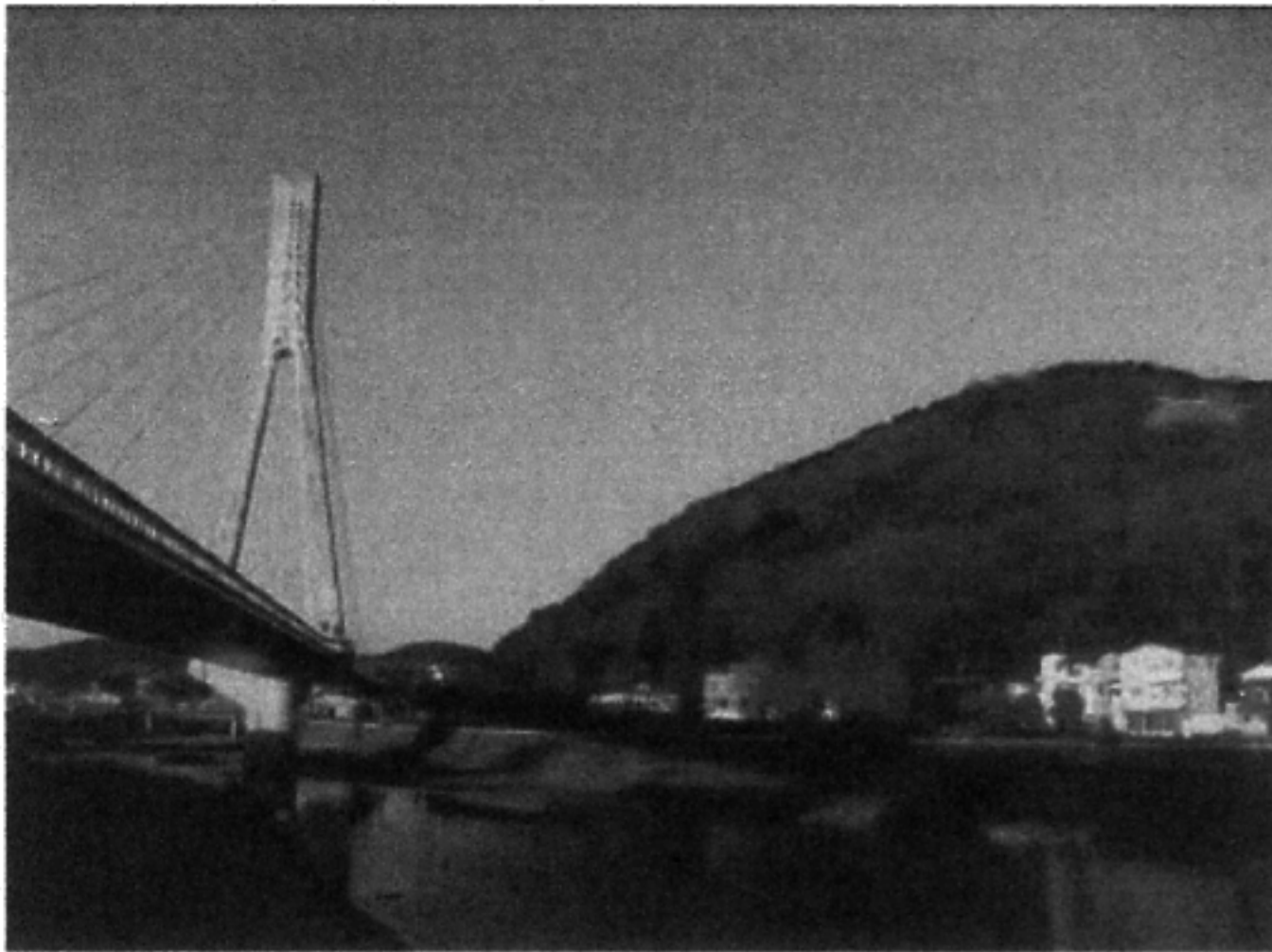


政治を変えたい力が前進する年

国民の求める社会と自公政権の目指す政策が矛盾を深めていきます

日本共産党は住民の苦難を軽減するために働く政党です

本年も日本共産党川西市議団活動へ、ご協力・ご支援よろしく申し上げます



新しい年をいかがお迎えでしょう。

先の総選挙最大の争点が経済問題であり、景気の回復、消費税、雇用問題などそれぞれの政党が何を政策に다가けていくかで支持する判断をされたのではないのでしょうか。

結果は比例選挙で3割の得票を得た自民党が、小選挙区制度のおかげで6割の議席を獲得し、公明党と連立を組むことによって、衆議院においては3分の2以上の議席占有を果たしています。

自民党安倍総裁が首相に選ばれ第2次安倍政権がスタートしました。

景気回復のため個人の購買力を高める政策を政治の責任でやるべき

安倍政権では景気回復のために2%台の成長率目標を掲げ、金融政策を打ち出しています。そのために日銀と政策を結び、国の借金を日銀に背負わせ、金融政策でデフレをインフレ状況へ転換するとしています。

もう一つは10兆円規模の補正予算とそれに続く本予算を含め10年間で200兆円の公共事業の実施を行い、景気回復のためには借金を増やしてでも行うと首相自ら公言しています。

国と地方で1000兆円を抱える日本の財政、いくら日本の財界がカバーしているからと言って、

これ以上の借金は日本経済だけでなく、国そのものの機能を失わせてしまいます。消費税増税を実施するための一時的な景気回復はかつて自公政権時代の借金まみれの政治復活でしかありません。

日本共産党は「景気の回復は個人の購買力を高める」政策こそ必要と考えています。つまり個人の所得が増える仕組みをつくること、賃金の引き上げなどです。

企業が労働者の働きによって得た利益(260兆円の内部留保資金)を労働者に還元すべきことを国の責任で行うべきと考えています。



よし

くらしの

「由さん」の 便り

2013年 1月 302号

川西市議会議員 (日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

市民への情報は住田のブログへ。「由さん」のくらしの便りか「住田由之輔」で検索



2013年度予算へ向け

200項目の市民要望を提出

市民の願い実現へ今年もがんばります

日本共産党議員団要求の重点項目

・国に対しても積極的に意見を上げるもので
震災復興推進、税と社会保障の一体改革中止、
能力に応じて税を納める仕組み、TPP参加反
対、防災や平和への対応など。

・県立高等学校学区拡大に反対すること。

・県立こども病院をポートアイランドへ移設する
ことに反対すること。

・市立川西病院を北部地域住民の医療の拠点とし
て拡充することで

公立病院として存続すること、整形外科を含め
て医師の確保、交通網の拡充、駐車場の無料化、
市として財政支援を拡充すること。

・中央北地区開発についてはその都度市民意見を
聞くこと、財政出動はより厳格に行うこと、地域
内の市民財産は市民全体へ還元すること。

・交通弱者に対して公共交通網を拡充すること。

・公的保育を堅持すること。

・中学校の完全給食の実施

など予算へ反映するように要求しています。

日本共産党議員団として常日頃からお聞きし
ている要望や、アンケート調査で受けた要求など
まとめたものです。

行政側の中期財政計画に

基づく財政状況

(2013年から2018年の5年間)

市の言い分は、国の財政が不透明、2012年
度予算執行においても、第3セクター、市立川西
病院などへの資金繰り入れ等、市税収入の落ち込
みで厳しい財政が容易に予測できる。

特に納税対象者多数が退職を迎える市の特性
があり、高齢化によって社会保障費支出増、借金
返済が重くのしかかっている状況。

今後5年間で約50億円の財政不足が予想さ
れ、基金の繰り入れ、行財政改革の継続を行って
も基金は1億円になってしまう。しかも公共施設
の老朽化に伴う維持管理経費が増大することが
見込まれ、中には改築も行わなければならない、
その財源の確保も必要になる。そのため

今後の行財政改革

市の持続的発展を目指すとして4点の項目を
打ち出す。

1. 参画と協働のまちづくりを目指すとして
地域分権制度を導入し、地域要求を市民の力を
借りておこなう

同時に補助金の見直しも行う

2. 革新し続ける行政経営の推進として
民間活力の導入を積極的に行う

裏を返せば資金力に乏しい地元企業の参入が
難しくなる

3. 公有財産の長寿命化

4. 職員定数の管理で市役所業務の縮小化など
が提案されています。

一面よさそうな政策も長い目で見れば市民サ
ービスの縮小につながっていくと予測できます。

「新春のつとめ」開催

どなたでも参加いただけます

国政について国会議員に語っていただく
予定にしています。

日時・1月27日、日曜日。

午前11時開始

場所・川西市文化会館レセプションルーム

(参加費無料)